

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 ヒューマンホールディングス株式会社  
 コード番号 2415 URL <http://www.athuman.com/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 朋也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画担当 (氏名) 川下 裕左

TEL 03-6846-8002

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,896	△4.4	561	△21.6	628	△14.2	447	219.2
23年3月期第2四半期	24,993	△18.0	716	△39.7	732	△37.5	140	△86.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 463百万円 (218.4%) 23年3月期第2四半期 145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,113.77	—
23年3月期第2四半期	1,288.86	1,288.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,437	4,522	22.1
23年3月期	22,203	4,138	18.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,521百万円 23年3月期 4,137百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	500.00	500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,274.00	1,274.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,888	4.3	873	△13.2	906	△13.4	692	170.3	6,369.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	109,872 株	23年3月期	109,872 株
24年3月期2Q	1,089 株	23年3月期	1,089 株
24年3月期2Q	108,783 株	23年3月期2Q	108,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動も徐々に立ち直りつつありますが、急速な円高進行による企業収益悪化や景気の下振れ懸念など、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、人材関連業界におきましては、企業の雇用情勢が回復基調であるものの、個人消費の落ち込みによる景気の下振れ懸念から派遣需要の回復が遅れ、依然として厳しい状況で推移しております。教育業界におきましては、少子化の影響によりマーケットは縮小傾向にあります。介護業界におきましては、高齢化の進行により引き続きマーケットは拡大しておりますが、人材不足が問題となっております。

このような状況において、当社グループは、人材関連事業の再構築と教育事業の構造転換に重点的に取り組み、介護事業は新規開設を推進いたしました。

以上の結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に人材関連事業と教育事業の減少により前年同四半期比4.4%減の23,896百万円となりました。利益面では、売上の減少により、経常利益は前年同四半期比14.2%減の628百万円となりました。四半期純利益については、前期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失がなかったことにより、前年同四半期比219.2%増の447百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 人材関連事業

人材関連事業におきましては、厚生労働省職業安定局から発表された「専門26業務派遣適正化プラン」に対して厳格に取り組んだこと、及び顧客企業による派遣需要の抑制等により、人材派遣の売上は減少いたしました。業務受託分野においてはメディカル分野と就職支援などの行政関連を中心に売上は増加いたしました。また、人材紹介の売上も増加いたしました。

主な取り組みとして、マーケットのニーズに迅速に対応するため、各分野に専門特化した営業体制を整備いたしました。また、顧客企業の人材ニーズと登録者の求職ニーズを的確に捉えるマッチング部門を各営業部に配置し、企業のニーズから成約に至るまでのスピードアップを図りました。

この結果、人材関連事業の売上高は前年同四半期比6.9%減の13,320百万円、営業利益は前年同四半期比44.5%減の52百万円となりました。

#### ② 教育事業

教育事業におきましては、通信講座、ライセンスビジネス等のコンテンツビジネスや講座受託を推進することにより収益の向上に努めましたが、景気の先行きの不透明さからくる消費マインドの低迷により依然として厳しい状況が続きました。

社会人教育事業では、通信講座の販売が好調に推移した一方、通学講座の受講生数は減少いたしました。また、新たな試みとして、フリーレッスン制の導入を行いました。

全日制教育事業では、総合学園ヒューマンアカデミーの本科部門在校生数が増加いたしました。また、震災の影響により日本語学校の在校生数は大幅に減少いたしました。

この結果、教育事業の売上高は前年同四半期比3.9%減の7,103百万円、営業利益は前年同四半期比34.0%減の329百万円となりました。

なお、当社の連結子会社であるヒューマンアカデミー株式会社は、顧客の学習ニーズを満たし、より満足していただける学習サービスを継続して提供していくため、平成23年7月8日にISO(国際標準化機構)より発行された国際規格(サービス関連)の「ISO29990:2010」の認証を取得いたしました。

#### ③ 介護事業

介護事業におきましては、堅調なマーケットニーズに対応し、重点的に経営資源を投下しております。

デイサービスセンターにおいては、定員の充足率の向上に努めるとともにサービス向上とコンプライアンスを徹底することを目的とした研修を実施いたしました。

事業所につきましては、デイサービスセンターとして稲城の湯・しらひげ乃湯(東京都)、利倉・きしべ乃湯(大阪府)、長住(福岡県)を新規開設し、フランチャイズ展開も5ヶ所の加盟店を新規開設いたしました。

この結果、介護事業の売上高は前年同四半期比14.9%増の2,834百万円、営業利益は前年同四半期比183.3%増の133百万円となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業におきましては、幼児・小学生向けの英会話・ロボット・理科実験教室の加盟校が増えた結果、受講生数が増加いたしました。

この結果、フランチャイズ事業の売上高は前年同四半期比30.3%増の147百万円、営業損失は43百万円（前年同四半期は50百万円の営業損失）となりました。

⑤ その他

ネイルサロン運営事業におきましてはルクア大阪店（大阪府）を新規開設し、フランチャイズ展開も2箇所の加盟店を新規開設いたしました。

プロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」の運営におきましては、スポンサー収入とチケット売上が減少しました。

この結果、その他の事業の売上高は前年同四半期比31.1%減の489百万円、営業損失は6百万円（前年同四半期は2百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、20,437百万円となり、前連結会計年度末の22,203百万円から1,766百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、15,264百万円となり、前連結会計年度末の16,968百万円から1,703百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,342百万円、売掛金が330百万円減少したことによるものです。また、固定資産につきましては、5,172百万円となり、前連結会計年度末の5,234百万円から62百万円減少いたしました。

次に、負債合計は、15,914百万円となり、前連結会計年度末の18,064百万円から2,149百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、13,108百万円となり、前連結会計年度末の15,323百万円から2,215百万円減少いたしました。これは主に、前受金が1,712百万円、未払金が457百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,806百万円となり、前連結会計年度末の2,740百万円から65百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が36百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、4,522百万円となり、前連結会計年度末の4,138百万円から383百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が367百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、新規連結に伴う増加額47百万円を合わせて、前連結会計年度末に比べ1,342百万円減少し、9,102百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、973百万円となりました（前年同四半期は914百万円の減少）。これは主に、税金等調整前四半期純利益が625百万円あったものの、前受金の減少額が1,719百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、259百万円となりました（前年同四半期は311百万円の減少）。これは主に、介護事業の事業所開設による設備投資等が221百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、158百万円となりました（前年同四半期は106百万円の減少）。これは主に、長期借入れによる収入が1,000百万円あったものの、短期借入金の純減額が278百万円、長期借入金の約定による返済が825百万円、配当金の支払が54百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における売上高は、おおむね計画通りに推移しました。利益面につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を上回りました。

今後の事業展開においても、グループ一丸となって収益の拡大に努めてまいります。フランチャイズ事業及びスポーツエンタテインメント事業において計画からの遅れが見られることと、外部環境が依然不透明な状況であり人材関連事業へ影響を及ぼすなどの懸念があります。

このような状況を勘案した結果、現時点では、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期通期連結業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,444,794	9,102,650
売掛金	5,146,064	4,815,121
有価証券	199,920	199,961
商品	254,256	257,533
貯蔵品	82,986	88,526
その他	845,527	804,702
貸倒引当金	△4,961	△3,858
流動資産合計	16,968,588	15,264,637
固定資産		
有形固定資産	2,561,721	2,627,652
無形固定資産	287,427	284,854
投資その他の資産		
差入保証金	1,579,494	1,535,222
その他	857,853	773,612
貸倒引当金	△51,627	△48,767
投資その他の資産合計	2,385,719	2,260,067
固定資産合計	5,234,868	5,172,574
資産合計	22,203,457	20,437,212
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	122,453	115,918
短期借入金	790,000	517,963
1年内返済予定の長期借入金	1,591,760	1,729,060
前受金	8,019,411	6,306,977
未払金	3,326,586	2,868,638
未払法人税等	156,293	188,387
賞与引当金	244,451	271,345
資産除去債務	205	205
その他	1,072,623	1,109,938
流動負債合計	15,323,785	13,108,435
固定負債		
長期借入金	2,249,260	2,286,080
役員退職慰労引当金	283,904	297,089
資産除去債務	95,048	100,225
その他	112,678	123,118
固定負債合計	2,740,892	2,806,514
負債合計	18,064,677	15,914,949

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,900	1,299,900
資本剰余金	809,900	809,900
利益剰余金	2,092,406	2,460,392
自己株式	△66,291	△66,291
株主資本合計	4,135,914	4,503,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,233	△13,692
為替換算調整勘定	16,275	31,081
その他の包括利益累計額合計	2,041	17,389
少数株主持分	823	972
純資産合計	4,138,780	4,522,262
負債純資産合計	22,203,457	20,437,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	24,993,640	23,896,393
売上原価	18,029,371	17,184,737
売上総利益	6,964,268	6,711,656
販売費及び一般管理費	* 6,247,843	* 6,150,136
営業利益	716,424	561,520
営業外収益		
受取利息	2,056	1,498
受取配当金	72	16,026
金銭の信託運用益	12,322	10,396
補助金収入	46,657	54,052
その他	59,985	56,104
営業外収益合計	121,093	138,077
営業外費用		
支払利息	33,463	24,240
投資有価証券評価損 為替差損	4,781	25,745
消費税込差額	21,323	14,066
その他	36,135	—
営業外費用合計	9,185	7,157
経常利益	104,890	71,210
特別利益		
投資有価証券売却益	732,627	628,387
特別利益合計	6,906	—
特別損失		
固定資産除却損	5,707	1,189
固定資産売却損	—	310
投資有価証券評価損	124,041	1,621
減損損失	6,724	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	197,957	—
特別損失合計	334,431	3,121
税金等調整前四半期純利益	405,103	625,265
法人税等	266,131	177,608
少数株主損益調整前四半期純利益	138,971	447,656
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,234	148
四半期純利益	140,206	447,508

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	138,971	447,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,473	541
為替換算調整勘定	10,917	14,805
その他の包括利益合計	6,444	15,347
四半期包括利益	145,415	463,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,650	462,855
少数株主に係る四半期包括利益	△1,234	148

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	405,103	625,265
減価償却費	212,464	221,067
減損損失	6,724	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,407	△3,988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104,927	26,894
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,439	13,185
受取利息及び受取配当金	△2,128	△17,524
支払利息	33,463	24,240
固定資産除却損	5,707	1,189
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,906	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	197,957	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,331,239	333,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,683	△7,725
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,002	△7,384
前受金の増減額(△は減少)	△1,880,236	△1,719,251
未払金の増減額(△は減少)	△1,222,990	△456,016
その他	277,861	131,260
小計	△773,322	△834,982
利息及び配当金の受取額	2,023	17,422
利息の支払額	△33,667	△25,892
和解金の支払額	△9,781	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△99,629	△130,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	△914,376	△973,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△238,069	△186,614
有形固定資産の除却による支出	△21,079	△44,500
無形固定資産の取得による支出	△39,845	△50,706
投資有価証券の取得による支出	△45,969	—
投資有価証券の売却による収入	20,000	—
差入保証金の差入による支出	△33,361	△35,047
差入保証金の回収による収入	64,142	57,115
貸付けによる支出	△9,690	△5,808
その他	△7,360	5,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,233	△259,664
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△278,506
長期借入れによる収入	600,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△770,880	△825,880
配当金の支払額	△135,978	△54,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,858	△158,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,655	2,724
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,335,124	△1,389,606
現金及び現金同等物の期首残高	11,105,508	10,444,794
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,000	47,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 9,800,383	* 9,102,650

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,306,983	7,395,396	2,466,949	112,973	24,282,303	711,336	24,993,640
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,483	58,136	2,172	2,593	76,384	102,743	179,128
計	14,320,466	7,453,532	2,469,122	115,567	24,358,688	814,079	25,172,768
セグメント利益又は損失(△)	95,378	499,287	47,252	△50,278	591,640	2,705	594,345

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	591,640
「その他」の区分の利益	2,705
セグメント間取引消去	2,376
各セグメントに配分していない全社損益(注)	119,702
四半期連結損益計算書の営業利益	716,424

(注)主として持ち株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,320,920	7,103,958	2,834,529	147,208	23,406,616	489,777	23,896,393
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,990	118,412	656	2,278	145,337	90,027	235,365
計	13,344,910	7,222,370	2,835,185	149,487	23,551,953	579,805	24,131,759
セグメント利益又は損失(△)	52,927	329,553	133,847	△43,226	473,102	△6,582	466,519

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	473,102
「その他」の区分の利益	△6,582
セグメント間取引消去	1,651
各セグメントに配分していない全社損益（注）	93,349
四半期連結損益計算書の営業利益	561,520

（注）主として持ち株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。